



Title	研究会・シンポジウムの記録〔創刊号〕
Author(s)	
Citation	臨床哲学. 1999, 1, p. 119-120
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/9172
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

臨床哲学研究会の記録

《研究会》

第1回 (1995.10.25)

鷺田清一 (大阪大学教授・倫理学) : 『苦しむ者』(homo patiens) としての人間)

第2回 (1995.11.30)

中岡成文 (大阪大学教授・倫理学) : 臨床哲学はどのようなフィールドで働くか

入江幸男 (大阪大学助教授・哲学) : ボランティア・ネットワークと新しい 人
権 概念の可能性

第3回 (1996.4.25) : フリー・ディスカッション

第4回 (1996.5.17)

川本隆史 (跡見学園女子大学教授・倫理学) : 関東大震災と日本の倫理学
——四つの症例研究

第5回 (1996.5.30)

池川清子 (北海道医療大学教授・看護学) : 看護 生きられる世界からの挑戦

第6回 (1996.6.20)

堀一人 (大阪府立刀根山高校教諭) : 「おかわりクラブ」の実験から
——職業選択から自己実現への道筋

第7回 (1996.9.26)

鷺田清一・中岡成文 : 哲学臨床の可能性

第8回 (1996.10.17)

小松和彦 (大阪大学教授・文化人類学) : 「癒し」の民俗学的研究

第9回 (1997.1.23)

荒木浩 (大阪大学助教授・国文学) : 「心」の分節
——中世日本文学における 書くこと と 癒し

第10回 (1997.7.3)

鷺田清一 : 臨床哲学事始め

山口修 (大阪大学教授・音楽学) : 音と身

第11回 (1997.9.25) テーマ「看護の現場から」

伊藤悠子 (芦原病院看護婦) : Fever phobia の克服に向けて

—— Nightingale 看護論に依拠した小児科外来における実践から

西川勝 (P L 病院看護士) : 臨床看護の現場から

第12回 (1997.11.27)

小林 愛 (奈良市社会福祉協議会 音楽療法推進室) : 音楽療法をめぐって

第13回 (1998.7.2)

パネルディスカッション : 「学校を考える 『不登校』という現象を通して」

提題者 栗田隆子 博士前期課程 (臨床哲学)

寺田俊郎 博士後期課程 (臨床哲学)

畠 英里 研究生 (臨床哲学)

第13回(1998.9.24)

山田 潤氏(大阪府立今宮工業高校定時制教諭)

第14回(1998.12.12)

パネルディスカッション:

「学校の現在と不在－哲学の現場から<不登校>現象を考える」

提題者 栗田隆子 博士前期課程(臨床哲学)

寺田俊郎 博士後期課程(臨床哲学)

畠 英里 研究生(臨床哲学)

《公開シンポジウム》

第1回(1996.12.13) テーマ「哲学における 現場」

熊野純彦(東北大学助教授・倫理学):死と所有をめぐって 臨床哲学への途上で

古東哲明(広島大学教授・哲学):臨床の現場 内と外との交差点

池田清彦(山梨大学教授・生物学):おまえのやっているのは哲学だ/おまえには
哲学がない

第2回(1997.2.21) テーマ「ケアの哲学的問題」

川本隆史(東北大学教授・倫理学):生きにくさのケア フェミニスト・セラピー
を手がかりに

清水哲郎(東北大学教授・哲学):緩和医療の現場 QOLと方針決定のプロセス

中野敏男(東京外国語大学教授・社会学):コメンテーター

第3回(1998.2.20)

第一部 テーマ1「女性におけるセルフをめぐって」

北川東子(東京大学):孤立コンプレックス

吉澤夏子(日本女子大学):親密な関係性

藤野寛(高崎経済大学):コメンテーター

霜田求(大阪大学):コーディネーター

第二部 テーマ2「国際結婚」

山口一郎(東洋大学):ドイツと日本のあいだで 日常としての文化差

嘉本伊都子(国際日本文化研究センター):国際結婚とネーション・ビルディング

浜野研三(名古屋工業大学):コメンテーター

熊野純彦(東北大学):コメンテーター

田中朋弘(琉球大学):コーディネーター